

第 94 回 教育研究評議会 議事要録

日 時	令和元年 11 月 26 日 (火) 8 : 50 ~ 10 : 20
場 所	本部管理棟 5 階会議室
出席者	櫻井学長、辻田理事 (総務・財務・企画担当)、奥田理事 (教育担当)、本家理事 (研究・評価・医療担当)、受田理事 (地域・国際・広報・I R 担当)、小山副理事、藤本副理事、藤原副理事・副学長、岩崎副学長、小島副学長、飯國副学長、中川人文社会科学部長、岡谷教育学部長、鈴木理工学部長、菅沼医学部長、栗原大学院看護学専攻長、柳林大学院教職実践高度化専攻長、藤田人文社会科学系長、松本自然科学系長、北岡医療学系長、深見総合科学系長、岩崎センター連絡調整会議議長、執印医学部附属病院長、原崎評議員、福岡評議員、森岡評議員、内田評議員
欠席者	遠藤副学長、尾形農林海洋科学部長、上田地域協働学部長、田中大学院黒潮圏総合科学専攻長、近藤共通教育主管、徳山海洋コア総合研究センター長、山内評議員、藤枝評議員
陪 席	関監事、大崎監事

〔配付資料〕

- 資料 1-1 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書
1-2 (参考) 文部科学省からの事務連絡

議事に先立ち、第 93 回教育研究評議会議事要録 (案) の確認が行われ、異議なく了承された。

〔議題〕

1. 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書について
学長から、調書の説明に先立ち、国立大学改革方針の概要及び本学を取り巻く情勢等の説明が行われた。引き続き、学長及び各担当理事から、資料 1-1、1-2 に基づき、大学の将来構想と今後の取組を記載した調書について、担当に係る事項の説明が行われた。
なお、学長から、今回示した調書は素案であり、今後、評議員からの意見等を踏まえ加筆修正した後、役員会で審議・決定し、文部科学省へ提出する旨の説明が行われた。
評議員より、研究成果の事業化や産学連携などによる社会浸透の促進について、地域関連だけでなく、研究面を強調した記載もあった方がいいのではないかとの意見があった。
2. その他
事務局から、机上配布資料に基づき、文部科学省から事前準備依頼のあった「成果を中心とした実績状況に基づく配分」に用いるデータ等についての協力依頼が行われた。

以 上